

平成27年2月17日

埼玉県の地域活性化の取組について

埼玉県産業労働部長 山中 融

はじめに

人口減少社会の到来

(2010年 → 2060年)

- ・ 総人口の減少
(1億2,800万人 → 8,700万人)
- ・ 高齢者人口の急速な増加
(2,900万人 → 3,500万人)
- ・ 生産年齢人口の減少
(8,200万人 → 4,400万人)
- ・ 若年人口の減少
(1,700万人 → 800万人)

リーマンショック

(2008年 : H20)

東日本大震災

(2011年 : H23)

埼玉県の取組

安心・成長・自立自尊の埼玉

埼玉県5か年計画12の戦略

(平成24年度～平成28年度)

3大プロジェクト (H24～)

- ・ 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト
- ・ 健康長寿埼玉プロジェクト
- ・ 埼玉エコタウンプロジェクト

通商産業政策の地方分権化

- ・ 先端産業創造プロジェクト (H26～)
- ・ 県内企業の海外展開
- ・ 企業誘致

産業振興・雇用拡大
(取組の加速化 + 先取り)

1 先端産業創造プロジェクトの推進 **拡充**

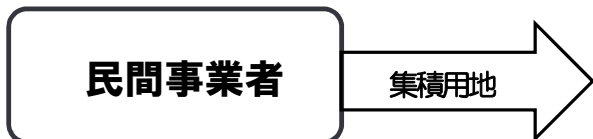
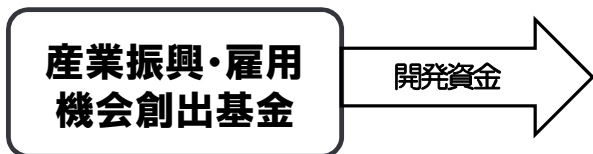
研究機関や大学等
の先端シーズ



企業の優れた技術



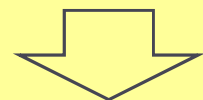
先端産業の創造



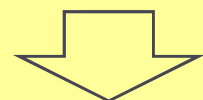
実用化・製品化開発

<重点5分野>

- ① ナノカーボン
- ② 医療イノベーション
- ③ ロボット
- ④ 新エネルギー
- ⑤ 航空・宇宙



事業化



先端産業の集積

◇ 実用化・製品化開発

18億4,200万円

- 人材・技術・情報を埼玉に結集
- 産学連携による研究開発
産総研、埼玉大等の先端シーズを実用化
- 企業等の研究開発支援
各分野に応じた多彩なメニューで支援
- 企業支援のための環境整備

◇ 先端産業関連企業の誘致

- ・ 先端産業企業アンケート調査等
- ・ 誘致候補エリアの選定
- ・ 農大跡地の活用

2 中小企業の経営力向上

経営革新の推進

拡充

◇商工会議所・商工会による一貫した経営革新計画取組支援

60団体（2年間） 経営革新計画の承認件数 600件/年

○計画策定

○フォローアップ

・経営革新計画策定支援塾の開催(30回/年)

・計画策定、計画実行のための専門家派遣による支援(600回/年)

○商業・サービス業の重点支援

・商店街店舗の臨店一斉巡回(60回/年)

新規

◇経営革新計画促進融資の創設

○経営革新に積極的に取り組む中小企業を資金面から支援

融資枠 50億円

限度額 1億円(組合4億円)

中小企業経営力の向上

3 商店街の振興、ブランドづくり(サービス産業の振興)

1 地域商業の活性化

◇繁栄する商店街と商店のしくみづくり

新規 ○黒おび商店街の活性化 91 → 200商店街

○街バル等のイベント支援

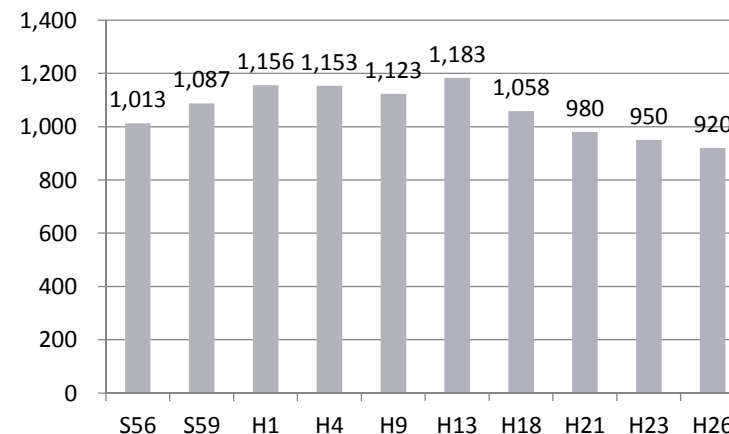
新規 ○空き店舗情報サイトの構築 など

◇消費の喚起、物産観光の活性化 45億9,200万円

補正 ○プレミアム付商品券支援

○プレミアム付物産観光券の発行

埼玉県内の商店街数の推移



出典:埼玉県商業・サービス産業支援課調べ

2 サービス産業の振興

◇サービス産業事業者への支援強化

新規 ○健康関連サービス産業の支援

超少子高齢社会に対応したビジネスモデルの発掘、連携の促進

○高齢者向けレストランや食育教室などの新サービスの創出支援

3 地域ものづくりブランド力の強化

◇地域資源や特徴ある製品等のブランド化

新規 ○地域資源等のブランド化 3地区

市町村、商工団体、産地組合、生産者団体等による研究会



4 観光

1 外国人観光客100万人の誘致促進

新規

- アニメキャラを活用した観光PR
- 外国人観光客誘致のためのプロジェクトチーム
- LOVE・SAITAMA・サポーターの創設
- おもてなし通訳案内士の認定



2 新たな観光資源の発掘・活用、情報発信

- 県内外での観光キャンペーン
「新幹線・圏央道開通記念」ようこそ埼玉キャンペーン
- 「食」の観光 埼玉S級グルメ
- 日本一のアニメの聖地化
- 埼玉の酒めぐり



3 県産品の販売拡大、ブランド化

- 新規** ○県産品の海外販売の拡大
- 埼玉県物産観光協会の会員拡大、
オンラインアンテナショップの販売強化
- 補正** ○プレミアム付物産観光券の発行
(宿泊、お土産、工芸品等の購入)



5 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト

1 働きやすい環境の整備

◇多様な働き方の推進

短時間勤務やフレックスタイムなど、多様な働き方実践企業を認定

【目標：H27年度末までに2,000社】

2 女性の就業・起業支援

◇女性キャリアセンターでの就業支援

就業相談・職業紹介、就職支援セミナー、職場体験・見学の実施など

【目標：就職確認者数 1,500人】

3 消費拡大・情報発信

新規 ◇「輝く女性応援団」によるウーマノミクスの発信



アタックNo1
©浦野千賀子・TMS

発信力のある企業経営者や女性起業家が「輝く女性応援団」となり、ウーマノミクスをPR

【目標：1,000社】

新規 ◇女性が活躍するフィールドの拡大

地域の経済団体や建設業、運輸業など女性が少ない業界団体と連携して企業の取組を支援
2,000社（20団体）

一部新規 ◇在宅ワークの推進

在宅ワークを希望する女性への支援と中小企業とのマッチング

◇保育サービス受入枠の拡大 (6,000人分) 88億2,900万円

認可保育所、企業内保育所など

・女性の活躍の推進
・就業者数の増加

女性の就業率(58.6%)を
男性(80.5%)と同じに

目標(2020年)

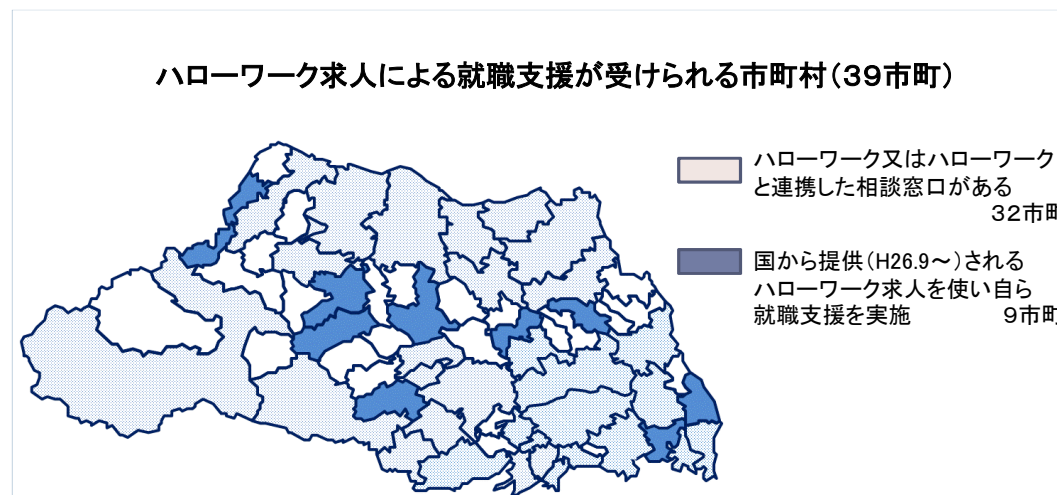
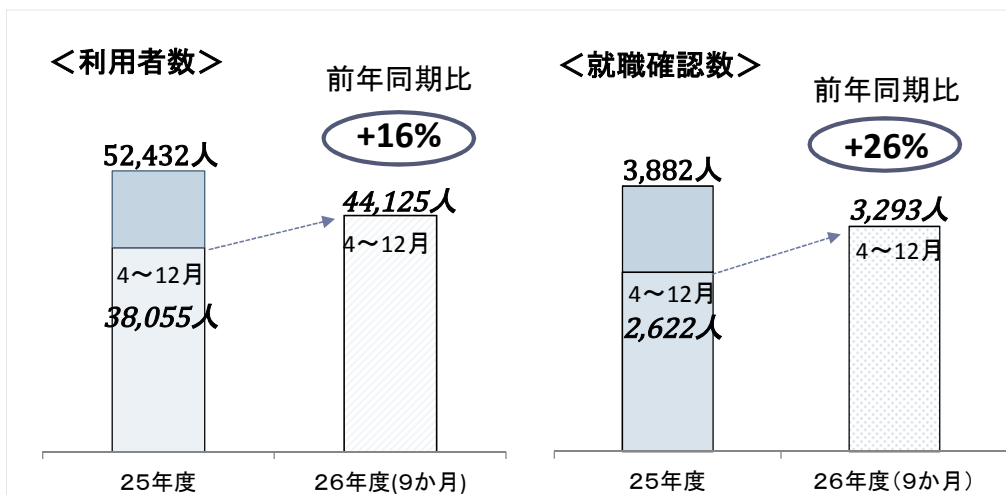
316万人→336万人(+20万人)

6 雇用(その1)

1 ハローワーク特区の推進と身近な就職相談の拡大

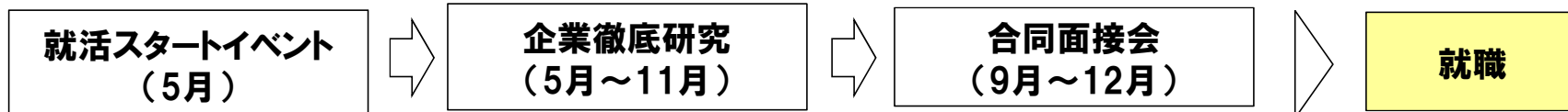
○就職相談から職業紹介までワンストップ支援（国+県+市）

新規 ○県内どこでも就職相談の拡大 15市町村

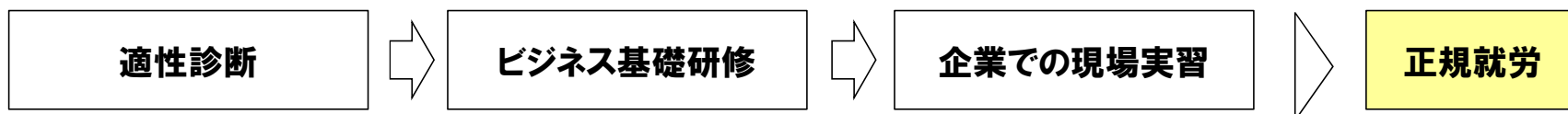


2 学生や若年求職者に対する就業支援（県内中小企業の人材確保）

○学生と県内企業が直接ふれあう機会の創出



○わかもの仕事チャレンジ（既卒未就職者200人）



6 雇用(その2)

3 障害者就労支援

- 企業の障害者雇用支援（法定雇用率 2.0%）
- 障害者の離職防止

4 職業訓練の推進 [11,220人]

○高等技術専門学校訓練

新規学卒者の求職者 870人 在職者 3,450人

○委託訓練

求職者 6,500人 障害者 400人

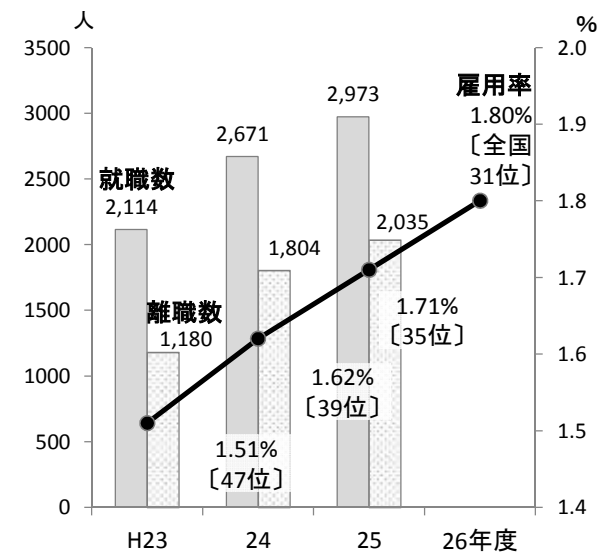
5 労働環境の整備

新規 ○若者労働ほっとラインの開設
土曜日（月2回） 10:00～16:00

新規 ○「働くあなたの介護応援資金」の創設
限度額 200万円 利率 1.2%以内

新規 ○「チャレンジ応援資金」の創設
限度額 50万円 利率 1.9%以内

本県の障害者就職・離職件数と障害者雇用率



出典:埼玉労働局資料

